

## 平成 26 年 12 月定例会・市長提案説明

それでは、12月定例会の開催に当たり、所信の一端を申し述べるとともに、今議会に提案いたしました議案の概要につきまして、御説明申し上げます。

今年も早いもので、年末が近づいてまいりましたが、本日から10日まで、年末の交通安全運動が行われます。残念ながら、本市におきましては、交通死亡事故が増加をいたしております。既に11人の尊い命が失われました。これは、昨年の8人を超える極めて憂慮すべき事態であります。10月31日には、「交通死亡事故抑止 緊急アピール」を発令いたしました。事業所や関係団体、また地域住民の皆様方と行政が一体となり、今まで以上に事故抑止に向けた取組を積極的に推進していかなければならないと考えております。本日も、早朝から事業所や関係団体の方々とともに市職員も街頭に立ち、交通安全啓発に当たりました。全市で8,000人以上の方が御協力をいただいたと聞いております。市内から交通事故を撲滅するためには、「事故を起こさない、事故に遭わない」を常に心がけていただきますよう、今一度皆様方の自覚と御協力をお願い申し上げます。

さて、今年の大きなイベントは、あと「家康公生誕祭」を残すのみとなりました。その他に予定しているものといたしまして、東公園に最新の学説に基づいた家族で楽しめる実物大のリアルな恐竜モニュメントを設置することとなりました。これは、ある篤志家からの寄附によるもので、今月末には、5体のうち1体を時計塔北側広場に設置いたします。全体がそろそろ正式なお披露目は来年3月末になりますが、一足早く子どもたちへのクリスマスプレゼントになればと思っています。

年が明けて、1月から「家康公四百年祭」がいよいよスタートします。

1月17日には、静岡市の浅間神社で、岡崎市、浜松市、静岡市の3市合同のオープニングセレモニーを開催し、1年を通して様々な記念事業を展開してまいります。これに先駆け、本市では1月1日の新年交礼会を市のオープニングと位置付けまして、約3年ぶりとなる観光大使おかざき2名のデビューを皮切りに記念事業を展開いたします。

1月12日には、四季折々の岡崎の魅力をイメージしたラッピング電車の出発式を名鉄東岡崎駅にて行い、運行を開始いたします。

3月中旬には、岡崎公園の東照公産湯の井戸の水を手で触れていただけるようにするための取水工事が完成する予定ですので、3月22日には、お披露目式を行い、新たな観光資源としてPRしてまいります。

また、本日、名鉄東岡崎駅構内の観光案内所を観光客の立ち寄りやすい場所に拡張移転させるとともに、JR岡崎駅周辺において、第2の観光案内所の開設を来年の夏頃に計画しており、さらなる観光情報の発信力の強化に努めてまいります。

さて、今年度に予定しておりました諸事業も、所期の計画に基づき順調に成果を上げており、これもひとえに議員を始め市民の皆様の御理解と御協力のたまものと、深く感謝を申し上げる次第であります。

ここで、本年度の主な事業の進捗状況について、御説明いたします。

まず、総務費の関係であります。地域交流センター六ツ美分館につきましては、昨年の6月にオープンしました歴史民俗資料室を核とする歴史・文化伝承ゾーンに続き、第2期整備としまして、活動室、プレイルーム、多目的ホール、創作室、印刷作業室などを備えた地域交流ゾーンの建設工事が9月に完了いたしました。現在、来年2月15日の供用開始に向けて開設準備をすすめております。

次に、市民会館につきましては、平成28年10月のリニューアルオープンを目指し、先月、改修基本設計の概要につきまして公表を行ったところであります。主な改修内容であります。舞台につきましては、奥行きを現行の10メートルから14.3メートルにまで拡張させます。これによって、舞台の機能は格段に向上し、本格的な舞台となりますので、より質の高い舞台芸術を提供することが可能になります。また、客席の椅子を4センチ幅広のものに取り換えるとともに、音響対策、空調騒音対策を実施することで、より快適な鑑賞環境を整えてまいります。敷地につきましては、ホールエントランスの高さを基準にフルフラット化することで、北駐車場を含む敷地全体のバリアフリー化を実現するなど、より使いやすく、快適な施設へと再生してまいります。開館から47年間、市民の皆様に親しまれ、利用されてきました市民会館を、今回の改修によって、次の世代に継承すべき文化芸術活動の拠点施設として再生し、さらに20年以上活用してまいりたいと考えております。

続きまして、民生費の関係であります。本年度からの2か年の継続事業として進めております百々保育園園舎建替事業であります。9月末に仮設園舎へ引越し、旧園舎の解体を行ってまいりましたが、今月から、いよいよ新園舎の建設工事に着手してまいります。来年12月には新園舎での保育を開始できますよう建設を進めてまいります。

次に、衛生費関係では、岡崎エコポイント抽選につきまして、今年度から新たにクールシェア・ウォームシェアをポイントの対象としました。7月から9月までに実施しましたクールシェアでは、公共施設、ショッピングセンターなど28施設をシェアスポットとし、多くの市民の皆様にご利用いただき、エコポイント抽選への申込みをいただきました。本日から開始しましたウォームシェアでは、シェアスポットを32か所に拡大し、さらに多くの方の参加を期待しております。誰もが気軽に参加できる活動を通して、市民の地球温暖化対策への

理解と活動が広がるよう、事業の促進を図ってまいります。

次に、商工費関係についてであります。

昨年10月、本市の経済を支える中小企業の皆様を支援するために岡崎商工会議所と共同で開設した岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz（オカビズ）につきましては、開設1年が経過しました。その間に寄せられた相談件数は、当初目標600件の約2.3倍に当たる1,404件、リピート率も73%にのぼるなど、利用者から高い評価をいただいております。

この1年間で、他市町村からの視察件数は34件、メディアの掲載件数は101件と大きく注目されており、相談者の強みを引き出し、広くセールスポイントを伝えていくといった手法が功を奏しているものと理解しております。

また、OKa-Bizで相談を受け、新たに創業された方の件数は、30件となっております。これにより、110人を超える雇用創出効果があったものと考えております。こうした、新たに起業・創業をしたいという「若い力」が生まれてくる土壌づくりも、本市の活性化のためには、引き続き必要であると考えております。

今後も関係する支援機関とともに、既存の中小企業事業者や今後創業される方を支援し、地域の活性化、雇用の確保を図ってまいります。

次に、土木費関係では、平成20年8月末豪雨関連の浸水対策として進めてきました占部川改修事業であります。昨年度までの工事で進捗率は約95%となっております。今年度は、上和田町に架かる稲荷橋の上流から最上流までの主に左岸側の護岸改修を進めており、これにより、平成21年度から進めてまいりました占部川の床上浸水対策特別緊急事業が完了いたします。

次に、矢作地区の南北を結ぶ主要道となります都市計画道路矢作桜井線ですが、JR東海道本線の踏切渋滞を解消するため、平成22年度から本格的に工事を行い、この線橋部を含め本線が概ね完成しております。現在、主要地方道岡崎刈谷線との交差点改良の進捗を図っており、来年2月の供用開始を目指してまいります。

また、額田地区の市道原下衣文線の男川に架かる新学校橋ですが、平成24年度から工事に着手し、現在は主要地方道岡崎作手清岳線との交差点などの工事を進めておりまして、国道473号の開通に合わせまして来年3月の供用開始を目指してまいります。

続きまして、教育費の関係であります。図書館交流プラザでは、既設の駐車場の混雑を緩和するため、東駐車場に隣接する市有地を約150台分の駐車場として整備しております。現在は、舗装工事を行っており、来年2月の供用開始を予定しております。

次に、タブレット型情報端末の導入であります。10月1日、全中学校にタブ

レット型情報端末796台の配備が完了いたしました。また、2学期の授業で利用できる授業モデル案とデジタル教材を配付し、各学校ではこれらを活用した授業が実施されております。昨年度、モデル校3校で得られた英語指導の成果を踏まえ、本年度からは、英語だけでなく、数学と理科にも広げ、今後3年間に渡って、学期ごとに授業モデル案を示しながら、本事業を進めてまいります。情報や情報手段を主体的に活用することで、21世紀にふさわしい新たな学びの創造に努めてまいります。

続きまして、水道事業では8月に矢作川水系で水道水10%の節水が行われましたが、本市の場合は自己水源である男川水系始め複数の水源を持っているため、市民生活への影響はありませんでした。今後も、水利用の円滑な運営のため関係機関と連携を図ってまいります。

また、基幹浄水場であります男川浄水場の更新工事は、今年度末の進捗率を30%と見込んでおりまして、平成29年度中の供用開始を目指しております。そのほか、平成24年度から継続事業として実施してきました仁木浄水場の排水処理施設更新工事は今年度末の完成を目指してまいります。

最後に、下水道事業では、平成20年8月末豪雨関連の浸水対策といたしまして、平成22年度から建替えを進めておりました針崎雨水ポンプ場が9月末に完成しました。排水能力を強化したことにより、針崎地区の浸水被害を大幅に軽減できるものと期待しているところであります。

また、同様に中島地区の浸水対策として建設を進めております中島雨水ポンプ場は、土木・建築工事に続いて、現在、機械・電気工事を行っているところでありまして、引き続き今年度末の完成に向け事業の進捗を図ってまいります。

以上、主な事業の進捗状況について御説明申し上げます。

それでは次に、本議会に提案しております議案について説明させていただきます。

まず、承認議案であります。12月14日執行予定の衆議院議員総選挙に係る予算措置を専決処分したことに対する承認議案1件を提案させていただきます。

次に、条例議案であります。制定条例といたしましては、額田地域において、ゆとりある暮らしの実現による定住促進を図るための「額田地域における都市計画法に基づく開発行為の許可の基準に関する条例」、省令又は県条例で定められていた基準等を、法令の改正に伴いまして、市条例で規定することとなりました「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例」など4件であります。

改正条例といたしましては、国家公務員の給与改定に準じ、職員の給与及び

市議会議員の期末手当を改める「職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例」と「議会の議員の議員報酬等に関する条例」、納税者の利便性の向上を図るため、普通徴収の個人市民税及び固定資産税等の納期を拡大する「市税条例」など8件、条例議案全体では12件を提案させていただいております。

その他議案につきましては、岡崎市地域交流センター六ツ美分館に関する「指定管理者の指定議案」など、合わせて3件を提案させていただいております。

次に、補正予算議案であります。一般会計では4億6,196万9千円の増額、特別会計では163万4千円の増額、企業会計では5,010万4千円の減額補正であります。

補正予算の主な内容につきまして、まず人件費に関しましては、一般・特別・企業会計を通じまして、給与改定、人事異動に伴う職員給与費の補正をお願いしております。

一般会計における主なものとしましては、総務費は、来年4月に執行予定の愛知県議会議員一般選挙に係る経費の計上、

民生費は、県補助金を活用して行う認知症高齢者を地域で支援するためのネットワーク構築に係る経費の計上、障がい児通所給付費に係る利用量及び自立支援医療の給付額が当初の見込みを上回ったことによる扶助費の増額、

衛生費は、千万町茅葺屋敷復旧工事に係る経費が当初の見込みを上回ったことによる増額、

商工費は、本市、静岡市、浜松市の3市を巡る旅行商品の造成などを企画する家康公顕彰四百年記念事業誘客促進委託料の計上、寄付金を活用して観光イベント用の資材を製作する委託料の計上、JR岡崎駅の観光案内所の設置に係る調査を行うことに伴う岡崎市観光協会補助金の増額、

土木費では、恐竜モニュメントの寄附を受けたことに伴い、東公園での公開に必要な周辺整備に係る工事請負費の計上、完成式典の開催委託料、臨時駐車場の整備費などの計上、

教育費は、申請者数が見込みを上回ったことによる私立高校授業料補助金の増額や文化施設整備基金へ予算積み立てをお願いするものであります。

以上が、一般会計の歳出の主なものでありますが、補正財源といたしましては、国庫支出金、繰越金、諸収入などにより収支の均衡を図っております。

次に、繰越明許費につきましては、人事給与情報管理システム導入事業は、国からの地方公務員共済制度の改正内容の提示が遅く、年度内完了が見込まれないこと、新東名高速道路開通記念スポーツ大会負担事業は、新東名高速道路の開通が延期となり、年度内執行が見込まれないことにより、それぞれ繰越しをお願いするものであります。

また、債務負担行為につきましては、市政だより印刷製本に要する経費を始

め31件の事項について、それぞれ平成27年度当初予算に先立ち、契約を早期に進めるため、債務負担行為の追加をお願いしております。

続きまして、特別会計であります。国民健康保険事業特別会計の事業勘定では、額の確定による介護納付金の減額、後期高齢者医療特別会計では、愛知県後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金の確定に伴う増額をお願いしております。

特別会計の債務負担行為であります。簡易水道事業特別会計で採水業務に要する経費について設定するほか、医療費通知印字封入封緘に要する経費など3会計で6件の事項について、追加をお願いしております。

最後に企業会計であります。病院事業会計では、供給業務に要する経費始め3件の事項の債務負担行為の追加、水道事業会計では、採水業務に要する経費始め3件の債務負担行為の設定、下水道事業会計では、受付業務に要する経費の債務負担行為の追加をお願いいたしております。

以上が、今議会に提案いたしました議案の大要であります。

最後になりますが、本市も平成28年には、いよいよ市制施行100周年を迎えます。この市制100周年を記念し、様々な事業を実施すべく先月25日に記念事業の実施事業案を発表させていただいたところであり。また、100周年記念事業の推進役となるよう、市民各層の方々からなる、「新世紀岡崎委員会」を立ち上げさせていただきました。市民参加の祝祭になるようお力添えをいただきながら事業を進めてまいります。記念事業におきましては、本市の新たな世紀の始まりとして市民、市、企業、団体等全ての関係者が主役となり、「夢ある次の新しい岡崎」建設のため、協働しながら市制100周年記念事業を展開してまいりたいと考えております。

議員各位の一層の御理解、お力添えを心からお願い申し上げますとともに、今回提出しております諸議案につきましては、よろしく御審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます。説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。